

(株)エイワ

垂井町・アルミニウム加工

従業員数／男性27名 女性9名 計36名 ※令和4年11月現在

エクセレント POINT

- ①サークル活動や「ありがとうカード」で社内のコミュニケーション促進
- ②社長自らが外国籍の社員の語学教師となり信頼関係を構築
- ③社員主体で行っている製品開発でグッドデザイン賞受賞



園芸サークルには現在4人が参加。活動費を使って季節の草花の苗を買い、プランターで育てている。花は会社のトレイなどに飾ることも。

エイワでは、社員同士のコミュニケーションの促進のため、さまざまな取組みを行っている。社内サークルへの活動費補助（1サークルに付き月1万円）もその一つ。現在5人が参加する英会話サークルでは、活動費を講師への謝金に使い、週に一度オンラインで英会話を学ぶ。管理業務チームの高木淳子さんは園芸

サークルに参加。「部署が違う同僚とも共通の趣味について話せて楽しい」と充実した表情を見せる。同僚へ感謝の気持ちを書く「ありがとうございますカード」は、専用のボストンに投函すると給与明細と一緒に本人に直接届く仕組みとしている。

社員とその家族も大切にする社風であり、新築や社員の子どもの入学などに合わせて祝い金を支給。その総額は年間10万円にも上る。

また、2018年から積極的に採用している技能実習生や外国人労働者に向けては、毎週月曜の定期的に日本語勉強会を実施。講師を佐藤全良社長自ら務めることで、生活や仕事の悩みを聞く機会にもつながっている。

現場の社員が主体的に職場環境

を変えていくための取組みとして、ショットアップにつながっている。

働くうえで気になる問題を指摘すると100円、改善案を提示して実行すると500円を支給。道具の定位位置を決めて印をつけるなどの提案が月に15～20件ほどあり、ほぼすべて改善に至っている。

さらに、下請け中心の会社経営を脱却するため独自の製品開発に取り組むプロジェクトを20年に立ち上げた。社内から募集したアイデアをもとに開発を進め、商品化を目指すことで、技術向上やモチベー



社員自ら自社オリジナル製品開発に取り組み、グッドデザイン賞2022を受賞。

コミュニケーションの円滑化に注力